

第4回 スマートシティ官民連携PF

群馬県嬭恋村役場 未来創造課 デジタル推進室長

山口 倫照

アジェンダ

- 群馬県 嬭恋村
- 嬭恋村 スマートシティ事例（都市OS）
- 背景・課題
- 推進体制
- 資金持続性
- 纏め

孺恋村って？

群馬県 孺恋村

<https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/>

人口：9406人 世帯4007(11月1日現在 内3000以上は65歳以上)

総面積：337.6 km²

キャベツ全国生産量No.1

浅間山、四阿山、本白根山3つの百名山に囲まれた高原地帯。万座温泉、鹿沢温泉など数多くの温泉とゴルフ場や別荘地、スキー場、キャンプ場などのレジャー施設も数多く存在する



浅間山



紅葉



愛妻の丘



鬼押し出し園



シャクナゲ



鹿沢温泉

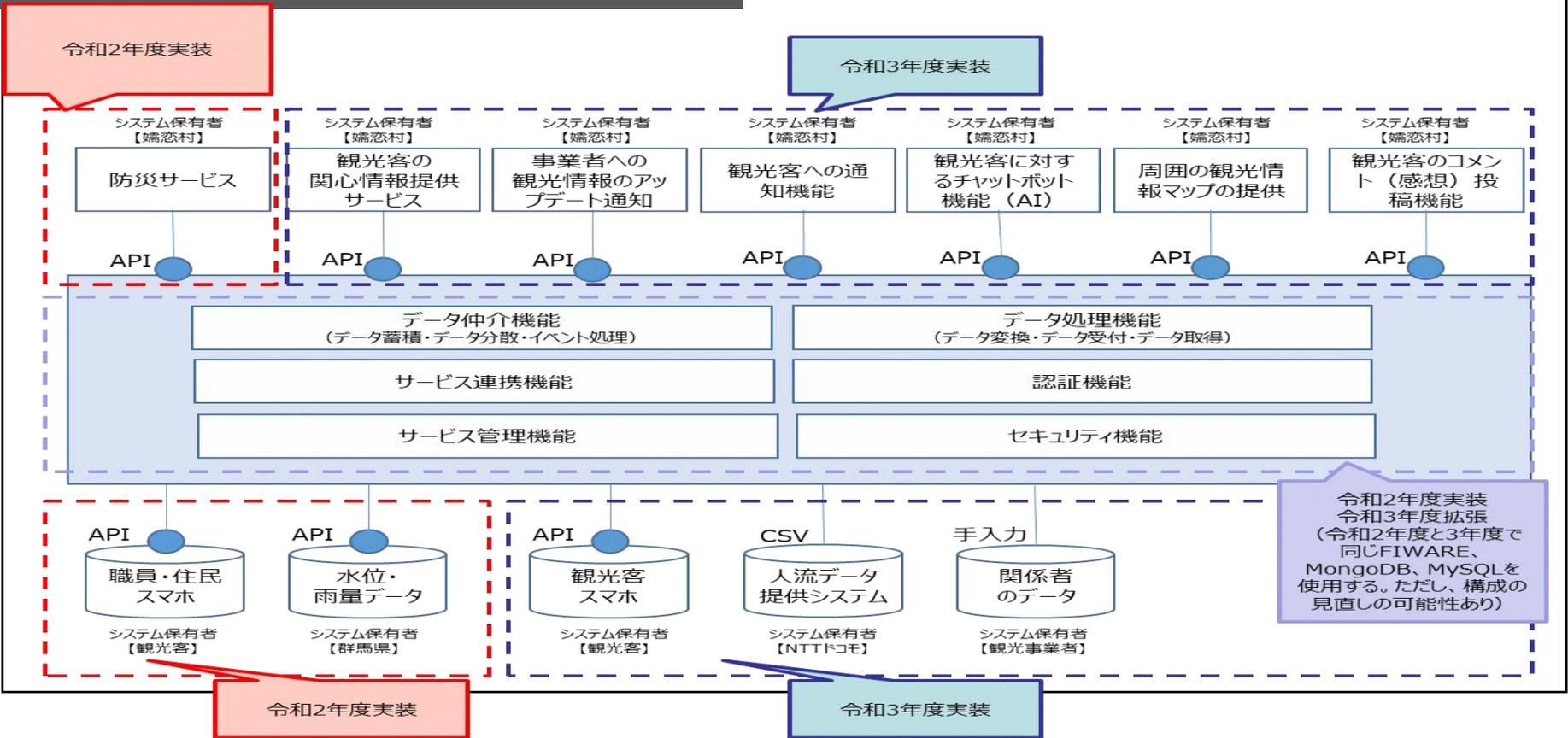


万座温泉



スマートシティ事例

システム構成図



課題背景 (防災)

令和元年 台風19号...

農業被害額：6億5千万
⇒農地50ヶ所、農業施設67ヶ所

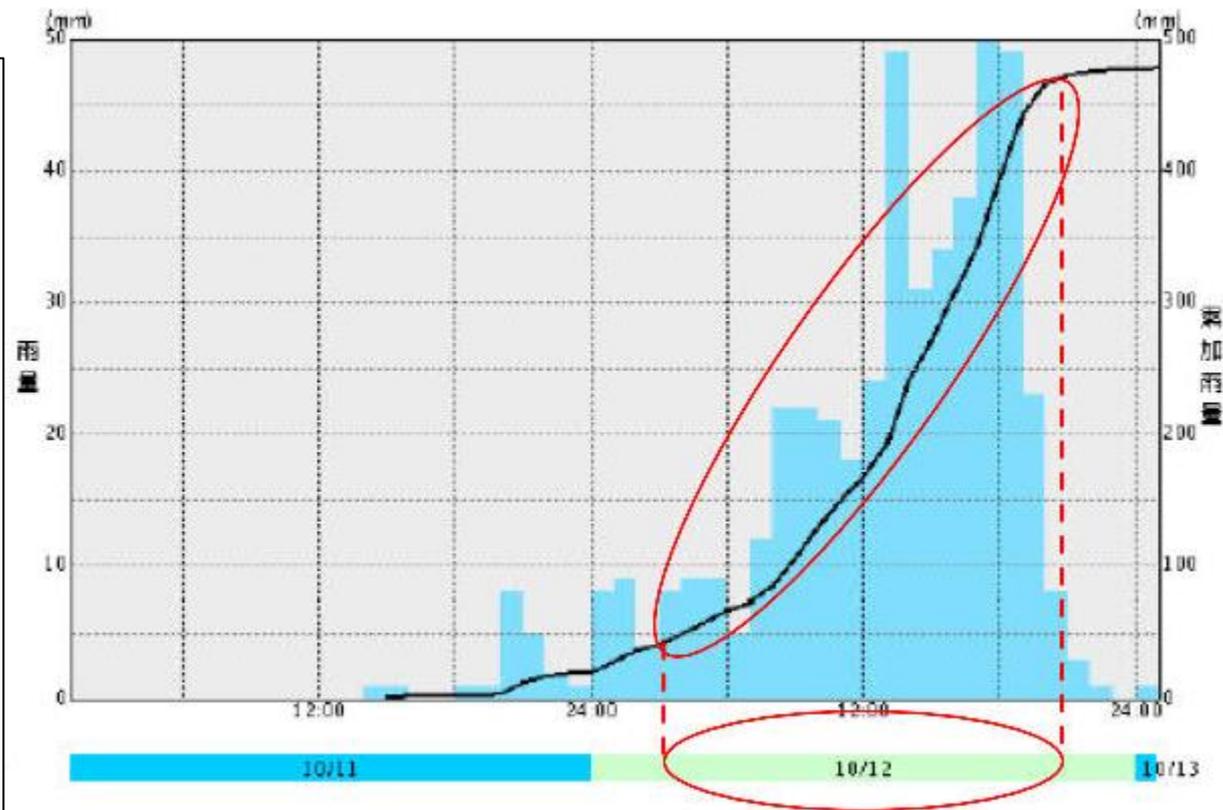
雨量：累計485mm

全壊家屋：5件

半壊家屋：5件

床上浸水：3件

床下浸水：9件



課題背景（防災）

令和元年 台風19号...



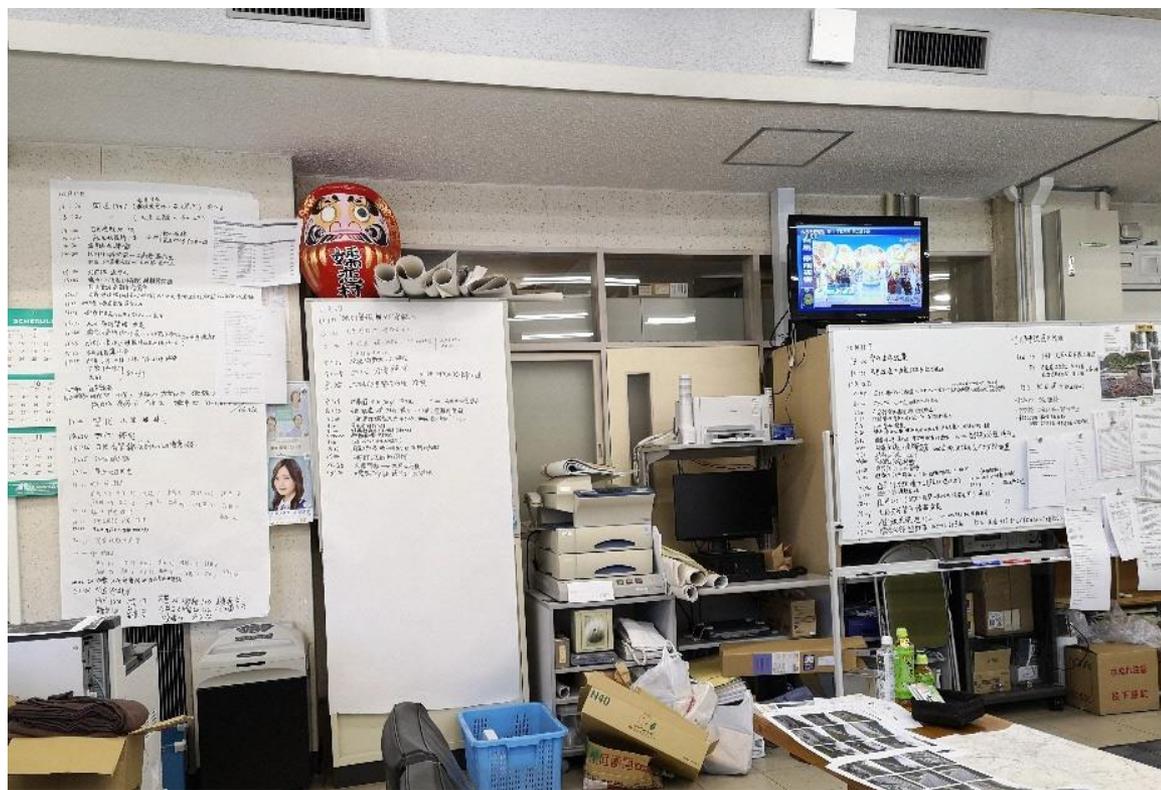
川の流れが変わるほど
過去最大級の被害を受ける 情報管理はどのようになっていたか

課題背景（防災）

令和元年 台風19号...

○課題（振り返り）○

- 手段としては電話。当事者同士
⇒本部としての状況把握が出来ていない
- 避難所が情報孤立
⇒本部が今どのように動いているか
- 職員所在
⇒職員がどこで支援しているか
- 村内情報共有
⇒QAに答えられない。規制情報の共有



スマートシティ事例（防災）



ダッシュボードによる規制情報の可視化
規制をLINEによってプッシュ通知

スマートシティ事例（防災）

Niimi Village 山口倫照 本部 避難所 要支援者 防災関連文書 サイトマップ

お問い合わせ (職員) > OFF

お問い合わせ一覧 (職員)

お問い合わせ一覧 (職員) 25件 更新 No. (無) (其数) 登録

問い合わせ日時	件名	優先度	分類	問い合わせ元	問い合わせ先	対応	内容	報告者名
2021/09/30 14:48	戻ってきていいです。	低	その他	本部	大野活性化。	対応済み	練習を終了しております。	山口 倫照

避難所情報一覧

避難所情報一覧 25件 更新 登録

避難所名	避難所種別	許容人数	収容人数	担当職員	未完了事項
田代体育館	避難所	120			詳細 編集
北山住民センター	避難所	100			詳細 編集

避難者情報登録

避難者情報登録 一覧

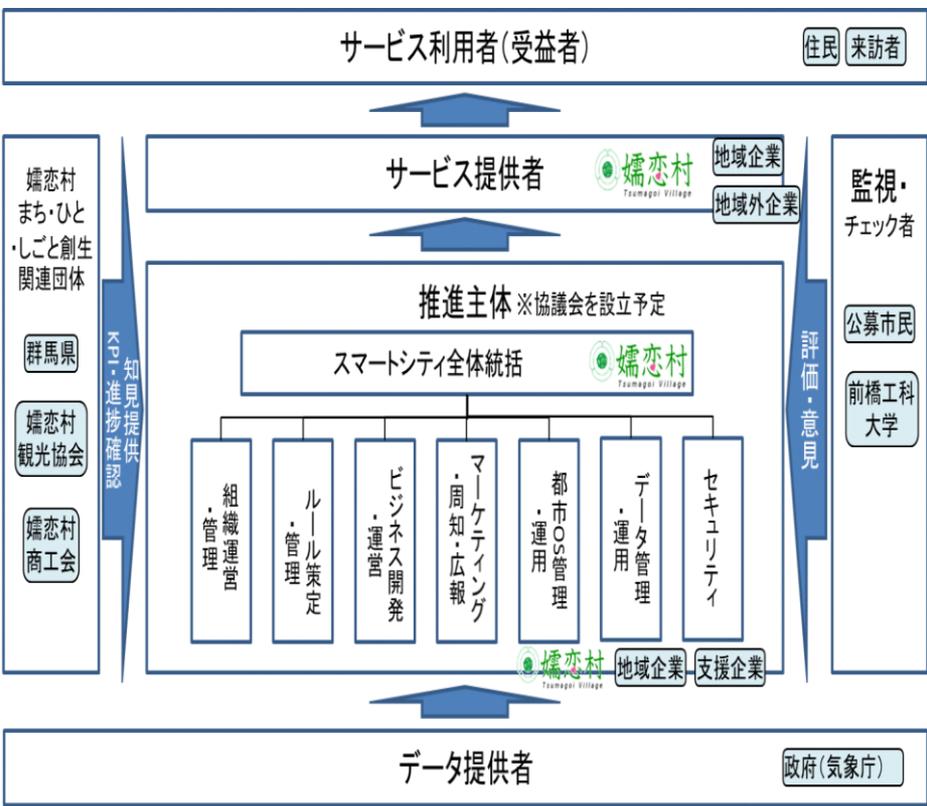
避難所種別選択
選択してください

避難所名選択
選択してください

入所日時
2021年 11月 25日 18時 48分

○ 問合せ機能による現場との情報共有
避難所管理及び避難者管理⇒ダッシュボードを通じて状況展開可能 ○

推進体制（防災）



平時/有事	作業概要	担当班
平時	<p>【前提】※基本的に上記「パトロール状況」にて運用する。 ・開始日時・開示範囲・詳細内容を記入の上登録する。開示範囲を「全員」にした場合、登録後一般ダッシュボード（LINE）にも開示される。 ・LINEを通じて現地報告された内容が当機能に蓄積される。（上記「パトロール状況」使用時を除く。）その内容を確認の上、判断し必要であれば一般ダッシュボードにも開示する。 ・LINEプッシュ通知を行う。</p> <p>【農林班】 害獣に関する防災規制を上記前提により担当する。 【建設班】 主に道路通行規制に関する防災規制を上記前提により担当する。 【上下水道班】 上下水道工事が影響する道路交通規制に関する防災規制を上記前提により担当する。</p>	農林班・建設班・上下水道班
有事	<p>【前提】※基本的に上記「パトロール状況」にて運用する。上記「平時」に記載されている前提と同様である。 【現場】 LINEによる現地報告を行う。 【本部：農林・建設・上下水道班】 未来創造・交流推進班と協力の上、現地報告内容の確認と一般ダッシュボードへの展開及びLINEプッシュを判断する。 【本部：未来創造・交流推進班】 一般ダッシュボードへの展開及びLINEプッシュの作業を行う。他班と共に判断の上。</p>	<p>【現場】 農林班・建設班・上下水道班 【本部】 農林班・建設班・上下水道班・未来創造班・交流推進班</p>

今後に向けた取り組み

- ・平時/有事別の役割分担（個人別）
- ・定期的な練習会実施
 現在、7月～10月に掛けて定期的な研修と練習会を実施
- ・より機能UPに向けた仕様定義
 R4予算化に向けた取り組み

突然ですが。

旅行先からこんなこと言われたらどうですか？

**こちらが観光アプリです。
そしてこちらが防災アプリです。
よかったらインストールして下さい。**

課題背景（観光）

○観光客は観光に何を求めている？

⇒レジャー？温泉？グルメ？部屋のきれいさ？おみやげ？
ワイワイ騒げる空間？

○求めている年齢層は？

⇒ファミリー？カップル？個人？夫婦？

○観光情報はどこから入手している？

⇒HP？口コミ？SNS？それぞれの種類は？
年齢層により異なるのでは？

課題背景（観光）

○ 嬭恋内の人々の動きは？

⇒どこから来ている？どのルートで草津に抜けている？
軽井沢へは？なぜ抜けている？

○ イベント開催は成功だった？来年もやるべき？

⇒伝統・文化に捕らわれていないか

予測・予想で動いている
裏付け・エビデンスがあれば...！！

スマートシティ事例（観光）



- 観光と防災が1LINEアカウントで実装
- エリア・テーマ・現在置・チャットボット
- 欲しい情報（受信情報）を自分なりにカスタマイズ
- プッシュ通知として受け取る事ができる
- 有事の際は防災情報も受信可能
- HPやネットには無いお得情報も

スマートシティ事例（観光）

モバイル空間統計[®]とは（参考）

“いつ” “どんな人が” “どこから” “どこに” 動いたかが分かる

～新たな人口統計～

端末数から人口を推計「拡大推計」 「推計したデータ」をご提供

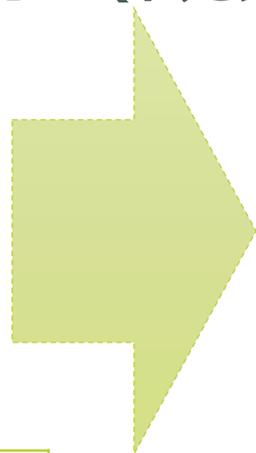


プレミアムパネル

潜在観光客に対するアンケートデータ



スマートシティ事例（観光）

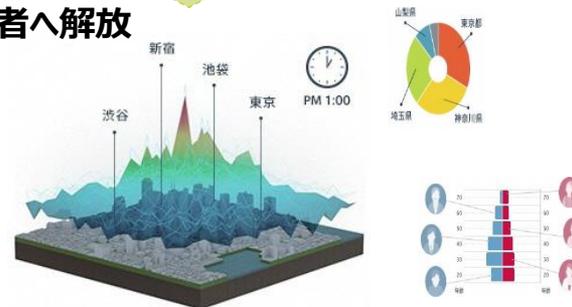


データ連携基盤

嬬恋村スマートシティ



BIツールを事業者へ解放



村で管理するデータ

観光消費税額

ふるさと納税額月別推移

移住定住データ

HP閲覧数

登山届

修学旅行・合宿

Etc...

資金持続性

○広域への展開

⇒特に防災スマートシティにおいては、一自治体で完結するモノではない。面で捉え、助け合いが必要。

ランニングコストとしても共同利用することで押さえられる可能性が高い。

○有料化（事業者）

⇒観光スマートシティにおいて、BIツールを活用する事業からは定額利用料を徴収。観光協会員・商工会員と非会員を差別化する。（平等）

纏め・今後

○常にデータ利活用を意識する

⇒それぞれアプリがあり…DBがあり…データ関係の仕組みとアドオンカスタマイズし…古い

○運用を意識したシステム導入

⇒ベンダー側の考えとして、コト売り、自分事として捉える、悪い意味でシステムで合わせるのではダメ

○今後のスマートシティ展開計画の策定

⇒改めてビジョン・どうあるべきか策定し展開する